

嘉島町地域農業再生協議会（熊本県嘉島町）

組織の概要

- 嘉島町は、熊本市南部に位置。「米・大豆」を基幹作物とした、土地利用型農業を行っている。
- 町内農業者のほとんどが「かしま広域農場」の構成員となっている。
くしま広域農場について>
- 町内6つの集落営農組織を再編統合。H27年に設立。
- 構成農家 389名
- 主要作業の集約化により、生産コストの低減。



生産概要

- 【作付面積】水稻：121ha、小麦：372ha、大豆：285ha（R5年）
- 町全体でブロックローテーションを実施（稲→麦→大豆）
- 農業所得の増加と経営の安定化を図るため、令和5年度より大豆の作付面積を拡大。（R4：225.5ha→R5：285.2ha）



取組のポイント

<作付面積の拡大及び団地化面積の拡大>

- 年2回の各集落での会議において、作付計画を協議。
- 集落ごとに転作作物の図面落としを実施。

<大豆の面積拡大と品質向上に向けたコンバインと溝掘機の導入>

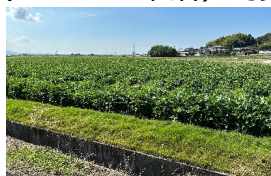
- 大豆の作付面積拡大に伴い、収穫作業の効率化（適期作業・排水対策）を図るため、コンバインと溝掘機の新規導入を行った。



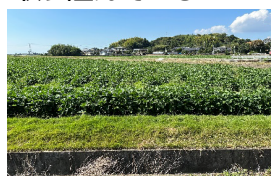
<品種導入に向けた実証栽培>

- 現在、実需者の要望を踏まえフクユタカ（旧品種）からフクユタカA1号（新品種）への切り替えに取り組んでいるところ。

10か所（30a×10集落）で実証栽培に取り組んでいる。



北甘木地区



北甘木地区（左図と別角度）



上島地区

取組成果

<作付面積及び団地化面積の向上>

【取組成果】 ■ R4（元の値） ■ R5（実績値） □ R7（目標値）

- 各集落での転換作物の作付協議により、大豆作付面積及び団地化面積が拡大。

○作付面積の推移：

- （R4）元の値 225.5ha
- （R5）実績値 285.2ha
- （R7）目標値 248.1ha

○団地化面積の推移：

- （R4）元の値 52.8% 217.8ha
- （R5）実績値 68.4% 282.3ha
- （R7）目標値 58.7% 242.3ha

※団地化率は総農地面積412.7ha(R4)から各年算出

